令和３年度決算報告

野々市市の財政事情

問い合わせ　企画財政課　☎227－6031

決算が６年ぶりの黒字に！

令和３年度決算（令和３年４月～４年３月）では、歳入額から歳出額と次年度への繰越予算額を差し引くと５億１千万円の黒字、そこから前年度の収支などを差し引いた実質単年度収支は１億４千万円の黒字となりました。実質単年度収支が黒字となるのは、平成27年度決算以来、６年ぶりです。

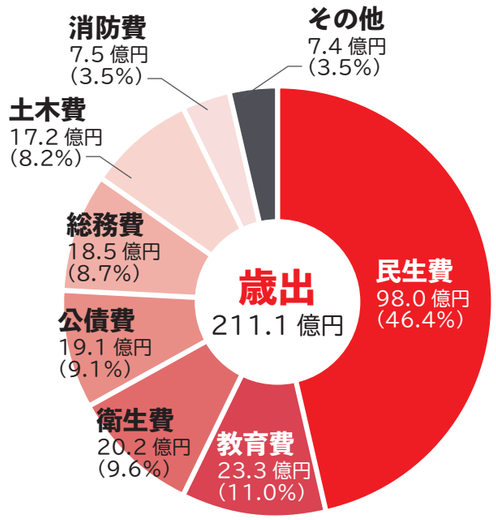
歳入では、市民税や固定資産税などの市税が前年度から３千万円減少し、79億２千万円となりました。普通交付税は、令和２年国勢調査での人口増加の影響などから前年度比で６億６千万円増加し、18億７千万円となりました。また、多くのふるさと納税をいただき寄附金が４千万円増加し６千万円となりました。

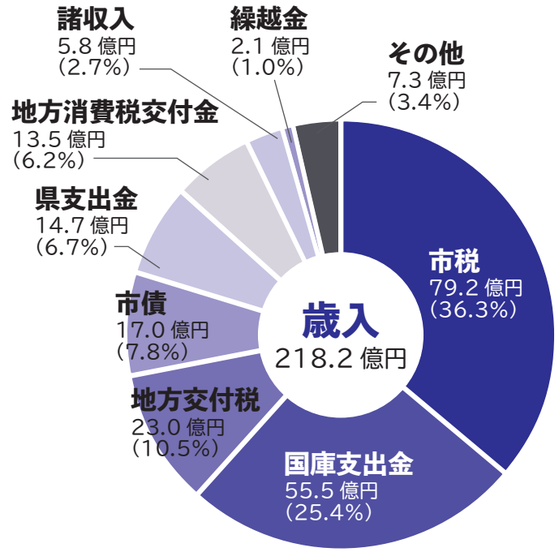
歳出では、今年の10月にオープンした市営墓地公園「メモリアルパークののいち」の整備に２億１千万円、新型コロナウイルス感染症対策として、ワクチン接種事業に４億２千万円、子育て世帯への臨時特別給付金に10億４千万円、経済対策事業としてプレミアム商品券発行事業に１億円を支出しました。

今後も、市民の皆さんが「住み続けたい」と思えるよう、また、持続可能な野々市であり続けられるよう、財政運営を行っていきます。

一般会計

※金額は表示単位未満を端数処理しているため、内訳と合計が一致しない場合があります





◆その他の内訳◆

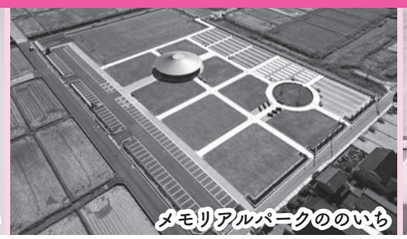
商工費	4億1716万7千円
議会費	1億6528万　円
農林水産業費	1億3346万4千円
労働費	2308万7千円

◆その他の内訳◆

利子割等交付金	1億8361万6千円
地方譲与税	1億4526万3千円
繰入金	1億1207万4千円
分担金及び負担金	8745万5千円
使用料及び手数料	8715万6千円
寄附金	5872万7千円
財産収入	3349万1千円
環境性能割交付金	1526万7千円
交通安全対策特別交付金	808万4千円

決算をもっと詳しく知りたい人へ

令和３年度決算の詳細を市ホームページで公開しています。
右記の二次元バーコードを読み込むか、市ホームページで「令和３年度野々市市決算」で検索！



用語の説明

一般会計
市の基本的な行政サービスを行う会計

特別会計
特定の目的のための会計。一般会計から切り離して、収入・支出を経理します

企業会計
地方公営企業法によって定められた水道事業の会計方式

歳入・歳出
市の１年度内の収入・支出のこと

繰越予算
さまざまな事情で次年度に繰り越した歳出予算のこと

実質単年度収支
単年度収支に基金（≒貯金）積み立て額を加え、引き出し額を差し引いたもの

基金
市が蓄えているお金

市債
国などから借りたお金

国庫（県）支出金
国（県）の特定事業に対し、国（県）から交付されたお金

繰越金
前年度から繰り越したお金

繰入金
基金などから繰り入れたお金

特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	44億1269万3千円	43億5606万8千円
後期高齢者医療	5億4281万8千円	5億4137万2千円
介護保険	29億3452万3千円	28億4693万8千円

企業会計

会計名		収入	支出
水道	収益的収支	9億3382万5千円	7億4758万4千円
	資本的収支	2億5830万1千円	5億4315万1千円
公共下水道	収益的収支	11億2810万1千円	12億5790万2千円
	資本的収支	7億5520万4千円	11億7475万1千円

・水道事業会計の令和３年度決算額において、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額２億8485万円は、過年度分損益勘定留保資金２億6062万１千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2422万９千円で補填しました
・公共下水道事業会計の令和３年度決算額において、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額４億1954万７千円は、過年度分損益勘定留保資金２億5921万１千円、当年度分損益勘定留保資金１億4979万３千円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1054万３千円で補填しました
・資本的収支には前年度からの繰越額を含みます

職員給与などの状況

市職員の部門別職員数や給与などをお知らせします。

部門別職員数（各年4月1日現在）

	令和3年度	令和4年度
一般行政部門	266 人	274 人
特別行政部門（教育委員会）	47 人	42 人
公営企業等特別会計部門	34 人	31 人
合計	347 人	347 人

※職員数は、一般職に属する正規職員数です

人件費（令和3年度普通会計決算）

住民基本台帳人口（令和4年3月末現在）	53,898 人
歳出額（A）	210億8851万5千円
人件費（B）	28億3334万9千円
人件費割合（B/A）	13.4%

※人件費には、特別職の給与・報酬を含みます
※決算統計の数値のため、市決算額とは異なる場合があります

職員給与費（令和3年度普通会計決算）

職員数（A）	311 人
給与費（B）	15億　652万8千円
給料	9億6718万8千円
職員手当	1億6427万9千円
期末・勤勉手当	3億7506万1千円
一人当たりの給与費（B／A）	484万4千円

職員の平均年齢,平均給料月額,平均給与月額（令和4年4月1日現在）

	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	41.0 歳	307,400 円	367,700 円
技能労務職	51.1 歳	279,500 円	293,500 円

特殊勤務手当（令和3年度）

支給実績	10万8千円
支給職員一人当たり平均支給年額	2,108円
職員全体に占める手当支給職員の割合	15.4%
手当の種類（手当数）	9種類

ラスパイレス指数

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
野々市市	98.3	98.2	98.6	99.0
全国市平均	99.1	98.9	98.9	98.8
類似団体	98.6	98.3	98.3	98.2

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数
※類似団体とは、人口及び産業構造が似通った他の市町村

期末・勤勉手当（令和3年度）

■平均支給額130万6千円

	支給割合
期末手当	2.4月分(1.35月分)
勤勉手当	1.9月分(0.90月分)

※（　）内は、再任用職員にかかる支給割合

退職手当（令和4年4月1日現在）

年数	自己都合	勧奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.586875月分
勤続25年	28.0395月分	33.27075月分
勤続35年	39.7575月分	47.709月分

※支給割合は、国と同じ

問い合わせ　秘書課　☎227－6022